

令和6年度 わかば福祉会 基本方針

—「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして—

1. はじめに

ロシアによるウクライナへの武力侵攻は2年を超え、原油不足や食料供給の停滞による国内の諸物価高騰・光熱費の値上げ等は、当法人の経営にとって大きな打撃となっている。

わが国は、少子高齢化と人口減少が急速に進み、2023年の出生数が75万人余りと過去最小になるなど、深刻さが増している。

地域の子育て家庭が抱える問題は多様化・複雑化しており、地域からの孤立、子育てに不安を感じる世帯の増加、児童虐待や子どもの貧困問題など、子どもを取り巻く環境の変化に対応することが、大きな課題となっている。これまで増加し続けてきた保育所の利用児童数も、令和7年には横ばいに転じることが見込まれている。

令和5年度は、すべての子どもの権利擁護を図り、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、こども政策を総合的に推進するため、「こども基本法」が施行されるとともに、「こどもまんなか」社会の実現をめざし、新たに「こども家庭庁」が設置された。こども家庭庁のもと、「こども大綱」「こども未来戦略」「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」等が閣議決定され、職員配置の最低基準の改正や「こども誰でも通園制度（仮称）」の本格実施を見据えた試行的事業実施などが進められることとなった。また、令和4年度から「幼保小の架け橋プログラム」が各地で実施されているほか、令和6年度には改正児童福祉法の施行にともなう「地域子育て相談機関」の設置等こども政策は大きな転換期をむかえている。あわせて「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の次期改定にむけて対応していくことが求められる。

保育の質の維持・向上に向けては、保育士・保育教諭等の処遇改善について、賃上げにかかる恒久的な財源の確保と、喫緊の課題である人材の確保・育成・定着を実現するための施策の拡充について、継続的に行政への働きかけを行っていくことが重要である。

併せて、富山県幼児教育センターが実施する幼児教育施設訪問研修を活用し、保育の質の向上に向けて積極的に取り組むとともに、地域の子育て支援を担う社会福祉法人立の保育所・認定こども園は、地域の様々なニーズに応えるべく「地域における公益的な取組」を実践していく。

このような状況の中で、保育関係者には、地域のすべての子どもと子育て家庭への支援が一層求められるとともに、新たな時代における社会的な使命を的確に捉え、保育の

専門性を活かした保育所・認定こども園としての機能と役割を果たし、さらに保育を発展・充実させていく力量が求められている。

当法人においては、「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして、常に子どもの最善の利益の保障に向けて、保育所・認定こども園が相互に連携し、社会・地域からの信頼を一層高められるよう留意することが求められる。

他方、こども園の最大の危機は人材不足である。引き続き「保育士等の処遇改善」に取り組むとともに、「保育士等の人材確保」「こども園での働き方改革」が求められている。

富山県は2024年度予算の重点政策①で、少子化対策、女性活躍の推進、こどもまんなか社会の実現を掲げ、子育て支援ポイント制度事業（地域通貨を1歳半時に3万円給付）を10月より実施することをはじめ、子育て環境充実を図っている。

富山市は子育て環境の充実について、こども基本法に基づく「富山市こども計画」の策定を進め、こども施策を総合的に推進するとともに、「こどもまんなか社会」の実現に向けた機運の醸成に取り組むとしている。また、子育て世帯への経済的な支援として、国の方針に基づき児童手当を拡充するとともに、第3子以降の保育料を無償化する。小・中学生に対してはインフルエンザ予防接種費用の助成、市営コミュニティバスの運賃無料化を実施する。まちなか総合ケアセンターにおいては、産後ケアや、お迎え機能を備えた病児保育、心や身体に発達の遅れが心配される乳幼児への支援などを一元的・包括的に提供する。

わかば福祉会は富山県幼児教育センターや富山市社会福祉法人連絡協議会とともに「質の高い幼児教育・保育」の実現と地域共生社会実現をめざす一翼として、地域における公益的な取り組みに積極的に取り組み、社会福祉法人としての役割を発揮するものである。

当法人は、常に「親子の幸せに貢献する」ために何をなすべきかを考え、各種事業に邁進するものである。

【重点事項】

- ① 能登半島地震を教訓として災害支援対策に取り組むとともに、子どもや子育て家庭を含む地域のすべての方々への支援など、社会の要請及び地域ニーズへ対応した保育の取り組みや事業等の展開を進める。
- ② 子育て関係者をはじめ、広く県民や地域社会に向けて保育所（園）・認定こども園の機能・役割についての理解を広げ、子育てしやすい社会を支える取り組みを進める。
- ③ 地域において保育所（園）・認定こども園が中心となり「保育の出前」活動に積極的に取り組み、子育ての喜びや楽しさを伝えるとともに、子育てニーズや問題発

見・発掘に努め、各種団体との連携により解決を図ることができるよう支援する。

- ④ 保育に携わるすべての者の資質の向上に向けた研修の充実と、必要な情報提供、認定こども園への一層の支援を進める。
- ⑤ 保育ソーシャルワーク研修等を通じて、相談援助技術の向上を図るよう支援を進める。
- ⑥ 富山県幼児教育センターと連携し、幼児教育施設訪問研修を積極的に活用するとともに、小学校とより一層の連携を図るために、幼児教育推進リーダー等への協力を行う。
- ⑦ 子ども主体の保育実践・子どもの権利擁護のために、こどもの虐待・不適切保育の根絶に率先して取り組む。
- ⑧ 富山市認定こども園協議会の機能強化を図るとともに、富山県保育連絡協議会の事業の連携を図る。

2. 会 議

- (1) 評議員会・理事会 必要回数

令和6年 6月（令和5年事業報告、決算等）

令和7年 3月（令和6年度補正予算、令和7年度事業計画、予算等）

3. 役員会等

- (1) 施設代表者会議 【原則として月1回開催】
- (2) 監事会 【期日：6月（令和5年度事業報告及び決算監査）】
- (3) 事務部会議の充実
- (4) 放課後児童健全育成事業運営委員会【クラブごとに年1回実施】
- (5) 第3者委員会（各保育園単位）

4. 事業内容

- (1) 法人内研修の充実（全体研修、各園全体ゼミ）
- (2) 8園の協力体制の確立と中長期計画の策定
- (3) 保育事務、保育打合せ、記録等の業務について、就業時間内の遂行をめざす
- (4) 未来委員会活動の推進
- (5) 事業規模を拡大し、安定経営をめざす
- (6) 「保育の出前」・地域子育て支援の推進
- (7) 「14歳の挑戦」等次世代の子育ての担い手養成や、子育てボランティアの受入れと育成
- (8) 保育教諭等の人材の確保・定着・育成

- ・ 新人保育教諭の家賃補助の充実
 - ・ 長期雇用臨時保育教諭の処遇の抜本的改善
 - ・ 新人研修の強化
- (9) 個別配慮児・医療的ケア児に対する保育方針の充実と、医療的ケア児保育の実施
- (10) 給食の完全自主献立化の推進

5. 環境の整備

- (1) わかば学童クラブ石金園の建設
- (2) はりはら保育園の修繕計画の策定と実施

6. 表彰の推薦

富山市認定こども園協議会、県社協会長表彰、全保協会長表彰等について、保育所運営及び本会事業貢献者等の推薦を行う。

7. 関係機関との連携促進

市と県の保育組織・経営組織との連携、協働関係の推進及び関係行政機関との連絡調整、地域子育てネットワーク構築のため地域関係機関・組織との連携、協力を進める。子ども食堂の支援を行う。

令和6年度 事務部 基本方針

ー地域における「育て・育ち」の安心安全な居場所づくりー

1. 運営体制

- (1) 法人の一体的運営・行政対応の一元化
- (2) コンプライアンス及びリスク管理体制の強化
- (3) 広報・宣伝業務の計画・立案
- (4) 中長期計画の見直し
- (5) BCP（事業継続計画）の見直し
- (6) 新規事業（公益含む）及び他業界・他業種連携の計画・立案
- (7) 階層別到達目標の洗い出し
- (8) SDGs の取組
- (9) その他必要な業務

2. 労務管理

- (1) 職務分担・業務フローの明確化
- (2) ノンコンタクトタイムの確保
- (3) 給与業務の正確・期限厳守・円滑化
- (4) 広域的な人材確保方策の推進
- (5) 各施設利用 ICT ソフトのメリット・デメリット抽出
- (6) その他必要な業務

3. 財務管理

- (1) 財政基盤の強化
- (2) 月次会計の迅速化
- (3) 適正な予算執行
- (4) その他必要な業務

令和6年度 基本方針 わかば保育園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の 為に	☆保育の質の向上をめざして☆ 新規採用、異動等での新体制でのスタートとなる。これまで切磋琢磨し積み上げてきた保育を土台とし、新たな風を取り入れる機会を大切に捉え子どもの姿・心に寄り添い、主体的に遊べる環境設定、日々の生活や行事の中での育ちのねらいを皆で考えていく。また、幼児教育センターの訪問研修をうけることで保育の振り返りをおこない質の向上をめざす。 ☆保護者とともに☆ 見守りが必要な家庭、個別配慮児へ専門的対応など難しいケースが増えているが、保護者に寄り添い、思いを共有し子どもの成長を日々伝える事によって保護者自身の子育ての力、楽しさを引きだしていく。
2、施設の役割・あり方	☆地域への貢献と関係機関との連携 コロナ前の訪問等に戻るにはまだ課題がある為、時代にあった新たな取り組みを考えていく。地域民生児童委員、地域放課後デイサービス、支援センターとの連携強化し子育て講座や相談業務、地域の親子の現状など共有し、強み・課題を話し合う事で、園として貢献できることを考えていく。小学校との連携や個別に配慮が必要な子どもの育ちを大切に、保健センターや恵光学園、県リハ等との連携継続、見守り家庭等、市役所や児童相談所との情報共有を強化していく。
3、人材育成・研修	☆子どもも職員も“楽しい”育ちあう職員集団に 職員間のコミュニケーションを大切にして信頼関係を構築していく。また、若手職員や臨時・パート職員も共に考え思いを活発に伝えあえる事ができる各種会議の持ち方を工夫し、子ども・保護者理解、共に働く同僚理解を深められるよう、前向きな意見が言いやすい風通しの良さと、共感することを大切にしていく。 ☆リーダーの育成と研修制度 各部門の現状や課題を話しあう機会を多く持つことで業務に対する役割を確認しリーダーシップを発揮できるようにする。互いの保育観や職員の思いを代弁することに繋げていく。各職員が必要なスキルに応じた研修に参加できるよう配慮する。
4、働き方改革と処遇改善	☆働きやすい職場環境にするためのさらなる工夫☆ 定期的に職場アンケートを実施し、職員の意見の吸い上げを行う。家庭の事情を配慮し、多様な働き方があることを職員間で理解、尊重しフォローしあえるようにする。ノー残業ディの実施の継続。事務時間確保とノンコンタクトタイムを基本に、確実に休憩をとる事、年次休暇取得率向上に努めたい。また日々の教育・保育の振り返りの時間がとれるようにしていく。 ☆にこにこ園との連携 連携園として柔軟な人員配置や行事の参加、進級等を見据えた交流、などより確実な協力体制の強化を図る。
5、施設改修等	☆日々改善・見直しの積み重ね 乳児室のエアコン修繕、園内安全点検の強化（劣化、不具合等） 樹木の手入れ、床ワックスがけ、高所等の清掃等

令和6年度 行事予定表

わかば保育園

行事名	日程(予定)	参加クラス
進級式	4月1日(月)	幼児クラス
入園式	4月9日(火)	新入園児、途中入園児
春の遠足	4月18日(木)	年長
	4月19日(金)	年中
	5月30日(木)	年少
年長お泊り保育	5月23日(木)～24日(金)	年長
クラス懇談会	5月20日(月)～28日(火)	3歳未満児クラス保護者
	6月3日(月)～12日(水)	幼児クラス保護者
父母の会総会		父母の会総会
保育参加	7月22日(月)～28日(金)	幼児クラス
竹馬作り	7月7日(日)	年長児親子
夏祭り	7月10日(水)	全園児
同窓会	8月13日(火)	卒園児
年中ナイト保育	9月6日(金)	年中
運動会	10月5日(土)	幼児クラス
いもほり	10月8日(木)	年長
遠足(2歳児)	10月10日(木)	2歳児(めろん組親子)
	10月11日(金)	2歳児(ぶどう組親子)
秋の遠足(幼児)	10月18日(金)	幼児クラス
保育参加	10月21日(月)～25日(金)	0, 1歳児クラス
保育参加	11月4日(月)～8日(金)	2歳児クラス
生活発表会(幼児)	11月30日(土)	幼児クラス
雪遊び遠足(年長)	1月20日(月)	年長児親子
ねはんの集い	2月14日(金)	年長児
お別れ会	3月7日(金)	全園児
卒園式	3月15日(土)	年長

- ★運動能力測定は、6月と10月に実施(幼児クラスのみ)
- ★健康診断・歯科検診・はどちらも春・秋に各1回実施
- ★眼科検診・視力検査は春1回、視力検査は春・秋に各1回実施(視力・聴力は満3歳以上)
- ★身体計測は月1回実施
- ★検尿は年1回
- ★誕生会は月1回実施
- ★避難・災害訓練(火災・災害)は月1回実施、不審者対応避難訓練は年3回実施
- ★交通安全指導は月1回実施
- ★体育指導は月2回実施(3歳以上児のみ)月1回外部講師
- ★音楽指導(どれみ♪タイム)は月1回実施4.5歳児のみ)外部講師

令和6年度 基本方針 はりはら保育園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の為に	※保育の質を高めよう 社会の時代背景への理解を深めたインクルーシブな保育・子育て支援～安心・安全を土台に安心して預けられる保育園を目指して～ 「こどものやりたい」という思いを大事に生活の場を整えていく。 小集団から集団へと成功体験ができる経験を増やし個々が安心して過ごせる場・保育園が楽しい！と思える場を提供していく。やってみたいと思える環境づくりを見直し自主性や多様性を尊重した保育を目指す。こどもの「やりたい」に共感し保育者自身も楽しむ。また、保育者も多様な存在なのでその個性を尊重することも大切にしながら力を発揮していく。 ※保護者とともに ・子どもの育ちやその意味を丁寧に伝え、共に喜び合う事を大切にする。保育園側の思いだけにならないよう傾聴・伝えるスキルを身につけ、保護者と日々子どもの姿を話しながら、家庭と共に子どもの自己肯定感の向上を目指す。 ※人権を大切に ・多様化を尊重しこどもの権利・生活を守ることなど、子ども達と一緒に保育の中での取り組みを考えていく。
2、施設の役割・あり方	※地域の子育て支援の場としての役割強化 ・保育園の魅力を発信していきながら支援の場として役割を強化する。 ※地域との繋がりを大切にして連携を深める ・幼保小の連携を密に園だよりを配布、災害を意識した合同の避難訓練ができるように働きかけていく。 ※針原地区唯一の幼児施設としての役割強化 ・富山県リハビリテーション病院、北保健福祉センターとの連携はもちろんだが、小学校との連携もさらに深め、子どもの発達を多方面から支援していく。医療ケア児受け入れ体制を整える。
3、人材育成・研修	※リーダーの育成 保育者の主体性も認めあい課題や議題に対する意見を持ち寄り、話し合う中でそれぞれが自分の役割を自覚し、リーダーシップを発揮できるようにする。今年は講師の先生を招いて研修したい。 ※おおいに語り合う会議・ゼミにしよう ・保育の振り返りを通して子ども達の育ちや何に夢中になっているのか心が動いている姿を捉え、保育の語り合いを大事にしていく。
4、働き方改革と処遇改善	※ICT化実現 ・業務の見直し・効率化を図る。職員の業務負担を軽減し子どもと向き合う時間を確保する。 ※有給休暇の積極的取得推進 ・継続的に計画的な有給取得をはかる。また土日を含めて一人1回4～5連休を取得する。
5、施設改修等	※園舎等の整備 ・築年数が古く、様々な部分に支障が出てきているが、修繕するところは修繕し園舎を大切に使いしていきたい。園内の環境を見直しささくれがひどい部分から修繕していく。中長期計画を視野に入れながら子どもにとっての動線や魅力ある環境地域に必要とされる園舎づくりを考えていく。 ・給食室新体制での自園献立に向けて環境見直し改善を行い、安心・安全でおいしい子ども達の食を支える給食づくりをバックアップしていく。

令和6年度 はりはら保育園年間行事予定

予 定 月 日		行 事 名	年 齢
4月	4日(木)	進級式	幼児
	8日(月)	入園式	新入児・途中入園児
	24日(水)	そら春の遠足 ★	年長児
	27日(土) AM	総会・保育参観	全園児
5月	9日(木)	にじ春の遠足 ★	年中児
	10日(金)	ほし春の親子遠足 ★	年少親子
	16日(木)～17日(金)	そらお泊まり保育	年長児
	27日(月)～31日(金)	個別懇談会	全園児
6月	5日(水)	歯科健診(9:30～)	全園児
	12日(水)	内科健診(12:15頃)	全園児
	13日(木)	ザリガニ釣り ★	年長児
	20日(木) 21日(金)	親子竹馬づくり	年長親子
	未定	プラネタリウム	年長児
7月	2日(火)・3日(水)	こども夏祭り	幼児
	4日(木)	眼科健診(13:30～)	全園児
	5日(金)	七夕の集い	全園児
	10日(水)	プール開き	全園児
	17日(水)	にじ園外保育 ★	年中児
	18日(木)	そら園外保育 ★	年長児
	27日(土)	同窓会	卒園児
9月	6日(金)	にじ親子野外活動	年中児親子
10月	5日(土)	運動会	年中・年長児
	8日(火)	2歳児保育参観(運動遊び)	2歳児親子
	9日(水)	ほし運動会ごっこ	年少親子
	未定	来拝山登山	年長児
	16日(水)	内科検診(12:15頃)	全園児
	17日(木)	2歳児遠足 ★	2歳児
	25日(金)	幼児秋の遠足 ★	幼児
	30日(水)	歯科健診(9:30～)	全園児
	28日(月)～11月1日(金)	年長個別懇談会	年長児
11月	5日(火)	こあら組クラス交流会	0歳児親子
	6日(水)	うさぎ組クラス交流会	1歳児親子
	7日(木)	くま組クラス交流会	1歳児親子
	8日(金)	焼きいもパーティー	全園児
	29日(金)	ほし・にじ生活発表会	年少・年中児
12月	13日(金)	そら生活発表会	年長児
	20日(金)	クリスマス会	全園児
1月	10日(金)	新年お楽しみ会	全園児
	17日(金)	年長冬の親子遠足	年長児親子
	29日(水)	すもう大会	年中・年長児
	31日(金)	2歳児ごっこ遊び	2歳児親子
2月	3日(月)	ひなまつりの集い	全園児
	7日(金) PM	年長クラス交流会	年長児
	20日(木)～21日(金)	お店屋さんごっこ	幼児
3月	3日(月)	ひなまつりの集い	幼児
	7日(金)	おわかれ会	全園児
	13日(木)	祖父母感謝の集い	年長児
	15日(土)	卒園式	年長児
	28日(金)	修了式	2歳児・幼児

★お弁当持参の日

令和6年度 基本方針 しんでん保育園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の為に	※保育の質の向上をはかろう - 令和6年度は職員体制が変わる。現在と変わらず若い職員が多い園であるが、ベテラン職員も増えるのでお互いの良い面を吸収しつつ、保育者自身が日々面白さや楽しさを感じながら主体性を発揮し、保育できるような環境を目指す。 - 子どもの主体性や権利を尊重して、その時々になにができるかが子ども達にとってより良いのかを考えながら保育するように心がける。また子ども達一人一人を多面的にとらえ、認めながら丁寧な保育を心がける。 ※保護者とともに - 常に保護者の味方であるという姿勢を持ち、普段の対話を大切に子どもの何気ないつぶやきやかわいい姿を伝えていく。その中で保護者の本当の思いを引き出したり、子育ての楽しさを共有したりして保護者の子育て力を育み支えていきたい。
2、施設の役割・あり方	※地域との交流・連携 - 空き教室を利用し、地域の子育て世帯に向けて開放する『子育てルーム』を開設する。ルームの中では、給食試食会や園内散歩、育児相談など、地域の子育て家庭にとって身近な保育園になれるような取り組みを行っていく。SNSでの発信も行い、しんでん保育園の取り組みを広くアピールしていく。 - 学校運営協議会への参加及び、同じ校区内にある幼稚園との交流・連携を図りながら、地域全体で子どもの育ちを支えていく。また小学校の先生による保育参観や保育教諭の学習参観、幼保小接続研修の中で、意見交換をし合い、保育教諭と小学校教諭で子どもの姿を共有し子どもの育ちにつなげていきたい。 - 県リハ、恵光学園、富山市まちなか総合ケアセンター等関係機関との連携を強化し、子どもの発育を多方面から支援していく。 - 地域ボランティアの方と稲作・野菜作りを協力しながら計画的に行い、給食やクッキングに取り入れ、食べる事が好きな子を育む。
3、人材育成・研修	※育ち合い・認め合う職員集団に - 日々子ども達の事を語り合う事を大切に、子どもへの共通理解を深めることができる職員集団を目指す。また職員一人一人がそれぞれの良さや持ち味を尊重し、認め合い、お互いに支え合い、自身の持つリーダーシップを発揮できるような、協働的な職場環境を作っていく。 - 職員同士の関係は保育に表れるので、クラスミーティングの中では相手の思いをまず傾聴し、一人一人の職員が安心して自分の思いを発言できるように、またそこから同じ方向を向いて保育できるようにしていく。そして同時に年齢ごとの子どもの育ちについて理解を深めていく。 - 配慮が必要な子への関わり方についてのゼミは継続して行う。また全体ゼミでは遊びと環境をテーマにし、子どものやりたいにつながる保育について考えていきたい。 - 職員一人一人がそれぞれのスキルアップのために必要な研修を受けられるようにする。
4、働き方改革と処遇改善	※より働きやすい職場環境を目指して - 業務支援アプリの導入による事務負担の軽減を図る。 - 年次有給休暇取得率は令和5年度同様を目指す。 - 幼児クラスのノンコンタクトタイム取得。
5、施設改修等	※安全・安心の見直し・改善点 - 給食室のエアコンの入れ替え ・ 廊下の窓ガラスの入れ替え - 園庭の整備（倉庫・遊具の修繕など）

令和6年度 行事予定表

しんでん保育園

行事名	日時（予定）		参加年齢	弁当	保護者・祖父母 参加行事
進級式	4/1	月	幼児クラス		
入園式	4/8	月	新入園児・年長児・新入園児保護者		★
保育参観・保護者会総会	4/26	金	全園児・保護者		★
クラス懇談会（お泊まり保育説明会）	5/1	水	年長児保護者		★
春の遠足	4/19	金	年長児	○	
	5/8	水	年中児	○	
	5/17	金	年少児	○	
年長お泊まり保育	5/10～11	金～土	年長児		
芋の苗植え	5/15	水	年長児		
花の苗植え	6/3	月	年長児と保内地区民生委員さん		
こども夏まつり	7/11～12	木～金	全園児		
同窓会	8/8	木	年長児・卒園児（1年生）		
ナイト保育	8/30	金	年中児	○	
運動会	10/12	土	幼児クラス		★
芋ほり	10月		年長児		
来拝山登山	10/16	水	年長児		
秋の遠足	10/22	火	3歳以上児	○	
2歳児遠足	10/23	水	2歳児	○	
球根植え	11/5	火	年中児と保内地区民生委員さん		
生活発表会	12/14	土	幼児クラス・保護者		★
クリスマス会	12/20	水	全園児		
冬の遠足	1/17	金	年長児・保護者		★
節分のつどい	2/3	月	全園児		
ひなまつり	3/3	月	全園児		
お別れ会	3/14	金	全園児		
ありがとうの会	3/18	火	年長児・祖父母		★
卒園式	3/22	土	年長児・保護者		★

◎内科検診・歯科検診…春、秋各1回 眼科検診…春1回

◎視力検査…春、秋各1回 聴力検査…年1回 ◎検尿…1回（4月）

◎身体計測…月1回 ◎運動能力測定…5月、10月（幼児クラス）

◎災害避難訓練・交通安全指導…月1回、不審者対応避難訓練…年3回

◎体育指導…月1回（幼児クラス）

◎絵画教室（年中児） お話の会（幼児クラス） サッカー教室（年長） ←5月より月1回

◎個別懇談会…年1回 年長児年2回 希望者は随時

◎保育参加…年齢ごとに日程を決めて年1回実施

★は保護者・祖父母参加行事（自由参加）

令和6年度 基本方針

石金こども園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の為に	☆主体性と環境と自由が不自由にならないように☆ 目の前の子どもの姿から見えてくる子ども達の「やりたいこと」や「やってみたいこと」を発展できるよう、職員間で話し合いながらよりよい生活や遊びの環境設定を考えていきたい。また、子ども自身がやりたいことを自由にできる時間はもちろん大事であるが、一斉に行う活動も子どもの興味関心を広げ、発達を押さえるためには大事なことであることも事実であるため、その辺りのバランスや子どもの心持ちを考えていきたい。そのためには、子どもの発達過程がわかりその年齢にふさわしい活動なのかどうか吟味しなければならない。そこで、1年かけて職員と一緒に教育・保育の見直しを行っていききたいと考えている。また不適切保育に陥らないようにするためにも、職員が子どもの心や思いをより深く考えられるように、身近な事例やエピソードの検討ができるようにしていきたいと思っている。 保護者参加や祖父母参加の行事を充実させ、共に子ども達を育て、子育ての喜びや大変さを分かち合えるようにしていきたいと思っている。
2、施設の役割・ありかた	☆地域や専門機関との連携と学童クラブの創設☆ 地域とのつながりに関しては、できることをコツコツとやっていきたいと考えており、地域から要望されたことに関してはできるだけ応えていきたい。また、園舎周りをきれいに保ち、近隣の皆さんも気持ちよく過ごせ、地域に応援される施設を目指していきたい。 様々な家庭背景があり、地域の関係機関との連携が必須である。園でできることには限界があるが、“親子の幸せ”のためにできる支援をしていきたい。個別に配慮が必要な園児の対応を今年度も専門機関と連携しながら進めていきたいと思っている。 令和7年度の学童クラブ創設に向けて、着実に計画を進め、近隣の方に認められる安心安全な学童クラブとなるよう頑張っていきたい。
3、人材育成・研修	☆自ら考え成長する職員集団へ☆ 公立保育所からの民営化も7年目を迎え、充実した職員集団となってきたのは事実であり、頼もしい限りである。そこで、今年度も職員それぞれが自分の立場や役割を考え、自ら動ける職員集団を目指したいと思っている。そのために、様々な困り事等を職員間で話し合っ決めてられるよう、話し合う時間の確保をしっかりと行っていきたい。特に3歳以上児クラスは、なかなか話し合う時間が取れない現状があるので、乳児クラスの職員にも協力してもらい時間を確保していきたい。そして、いろいろな思いを安心して提案できる風土を作っていきたい。 研修は積極的に参加できるように配慮し、園内研修では非正規の先生方にも参加してもらえよう、オンラインと参集形式の両方を活用し、充実させたい。
4、働き方改革と処遇改善	☆仕事の効率化と事務時間の確保☆ ICカードによる勤怠管理がさらに進む今年度。さらなる仕事の効率化を職員全体で考え実行していきたい。そのためにはICT化をもう1歩進め、さらなる事務時間や話し合いの時間、休憩時間の確保につなげていきたい。昼寝のないクラスの日々の事務や保育の準備をする時間を勤務時間内で確保のできるよう、当事者からの提案も生かしながら、工夫していきたい。また、長くやりがいを持って働き続けられるよう、それぞれに合わせた働き方を提案できるようにしていきたい。
5、施設改修等	☆日々の安全対策と遊びの環境の整備☆ 石金こども園は今の園舎となり10年以上が経過し、少しずつ修繕が必要になってきているため、未来も見据えながらどんな補修や改善が必要なのか考えながら進めていきたいと思っている。今年度はまず、電灯のLDE化を進め、光熱費高騰に対応していきたいと思っている。また、日々の安全点検から見えてきた修繕や改善をしっかりと行っていきたいと思っている。また、より遊びが発展するよう、必要な遊具や用具の購入を考えている。

令和6年度 石金こども園 行事予定表

行事名	日程	対象クラス
進級式	4月8日(月)	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
入園式	4月9日(火)	新入園児・途中入園・保護者(2部制)
保護者会総会	未定	保護者会総会：全園児
春の遠足(年長)	4月26日(金)	A. 年長児
春の遠足(年中)	5月15日(水)	B. 年中児
春の遠足(年少)	5月24日(金)	C. 年少児
お泊り保育(年長児)	5月30日(木)～5月31日(金)	A. 年長児
交通安全教室	6月10日(月)	A. 年長児・B. 年中児
プラネタリウム(年長児)	未定	A. 年長児
七夕の集い	7月5日(金)	全園児
保育参加(年中・年少)	7月1日(月)～7月5日(金)	B. 年中児C. 年少児
保育参加(年長)	7月8日(月)～7月12日(金)	A. 年長児
夏祭り	7月17日(水)～7月19日(金)	全園児
フラワー保育参加	7月22日(月)～7月24日(水)	ちゅうりっぷ・さくら・こすもす・ばなな
高齢者給食会	未定	A. 年長児
同窓会	8月3日(土)	卒園児(1～3年生)
防火教室	未定	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
防犯教室	未定	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
個別懇談会	8月19日(月)～23日(金)	A. 年長児保護者(全員)・他⇒希望者
運動会C. あじさい	9月18日(水)	C. 年少児(あじさい)・保護者
運動会C. ゆり	9月19日(木)	C. 年少児(ゆり)・保護者
運動会C. ひまわり	9月20日(金)	C. 年少児(ひまわり)・保護者
秋の遠足(2歳児)	9月26日(木)	ちゅうりっぷ
秋の遠足(2歳児)	9月27日(金)	こすもす・さくら
運動会A・B	10月12日(土)	A. 年長児・B. 年中児・保護者
ミックス保育参観	10月16日(水)～18日(金)	りんご・いちご・もも
秋の遠足C	10月18日(金)	C. 年少児
やきいもパーティー	10月24日(火)	全園児
秋の遠足A・B	10月25日(木)	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
高齢者給食会	未定	A. 年長児
3歳児生活発表会	11月15日(金)	C. 年少児・保護者
生活発表会(4.5歳児)	12月7日(土)	A. 年長児・B. 年中児・保護者
2歳児発表会	12月18日(水)	2歳児・保護者
クリスマス会	12月20日(金)	全園児
新年お楽しみ会	1月10日(金)	全園児
冬の自然体験	未定	A. 年長児
節分のつどい	2月3日(月)	全園児
成田山節分会	未定	A. 年長児
ひな祭り会	3月3日(月)	全園児
お別れ会	3月12日(水)	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
卒園式	3月15日(土)	A. 年長児・保護者

※検尿は年1回

※誕生会は園児の誕生日に各クラスで実施

※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応避難訓練は年4回実施

※交通安全指導は月1回実施

※個別懇談会は年1回実施(A. 年長児保護者全員)(他のクラス希望者)

※体育指導は年10回実施(A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児)

令和6年度 基本方針 下堀こども園

ねらい	施策
1、保育の質を高める	★子どもの1日1日を大切に ・開園して4年目に入る。行事の在り方を模索中だが、日々の保育を大切にしながら、子どもの主体性を尊重した保育から行事に繋げていきたい。 ・養護を基盤とした月齢別の保育を進める。(未満児は月齢別のクラスとし、少人数でゆったりとしたかかわりを大切にしていける) ・インクルーシブ保育の推進。個別配慮児の落ち着ける場所と人材の確保をする ・おいしい給食の提供～毎日が食育！ ・大人は子どもの心地よい身近な目標となる ★保護者の子育ての伴走者となる ・園の行事に参加してもらっただけではなく、日々の保育についても子どもの姿を伝え共有できるようにする。 ・保護者を尊敬し、よりよい関係を築く。
2、施設の役割・あり方	★地域の子育て支援の場としての役割の拡充 ・一時保育専門クラスの設立をし、断らない一時保育を目指す。親子サークルは2年目に入り、さらに地域の子育て家庭の集いの場としての役割を果たしていきたい。 ★関係機関との連携を深める ・情報共有や互いに学び合える場を作り、小学校との連携を深める。 ・医療ケア児・個別配慮児など関係機関との連携を取りながら、支援の幅を広げていく。
3、人材育成・研修	★お互いを認め合える職員集団を目指して ・温かい人間関係のもと、「お互いを思いやる気持ち」を大事に働けるよう配慮する ・新人職員の育成。 ★こども理解を深める ・子どもの事を話す場を設ける ・発達や保育について学ぶことが出来るよう、園内研修を工夫し充実させる
4、働き方改革と処遇改善	★仕事の効率化・体制作り ・ICTの活用を推進する。 ・行事の削減・スリム化を考える ・放課後学童支援員資格の取得
5、施設改修等	・2階あなぐらの活用方法を検討 ・保育室の環境を考える
6、その他	

令和6年度 行事予定

下堀こども園

行事名	日程	対象クラス
進級式	4月1日（月）	幼児
入園式	4月9日（火）	途中入園児・新入園児・保護者
交通安全教室	4月25日（木）	幼児
春の遠足（年長）	4月18日（木）	年長
春の遠足（年中）	5月27日（木）	年中
春の遠足（年少）	5月29日（水）	年少
お泊り保育	6月6日～7日（木・金）	年長
保育参観	5月24日（金）	全園児
防火教室	6月予定	幼児
ナイト保育	7月5日（金）	年中
七夕の集い	7月8日（月）	全園児
夏季午睡	7月16日（月）～	年長・年中
竹馬作り	7月10日～12日（水～金）	年長親子
なつまつり	7月12日（金）	全園児
運動会	9月21日（土）	幼児
秋の遠足（年中）	10月10日（木）	年中
秋の遠足（2歳児）	10月15日（火）	2歳児
秋の遠足（年少）	10月11日（金）	年少
来拝山登山	10月17日（木）	年長
生活発表（年中）	11月28日（木）	年中
生活発表会（年長）	11月27日（金）	年長
2歳児生活発表会	12月12日（木）	2歳児
3歳児生活発表会	12月13日（金）	年少
クリスマス会	12月24日（火）	全園児
新年お楽しみ会	1月17日（金）	全園児
お別れ親子遠足	1月31日（金）	年長親子
節分の集い	2月3日（月）	全園児
ひな祭り会	3月3日（月）	全園児
おわかれ会	3月14日（金）	全園児
修了式	3月21日（金）	幼児
卒園式	3月22日（土）	年長
家庭訪問・個別懇談会	※未定	全園児
保育参加	※未定	全園児

※検尿は年1回 歯科・内科検診は年2回 眼科健診は年1回

※誕生会は月1回実施 ※交通安全指導は月1回実施

※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応避難訓練は年4回実施

※絵画教室（年中）月1回実施 ※どれみタイム（音楽リズム）（年中・年長）は月1回実施

※体育指導（幼児）は年9回実施

令和6年度 基本方針 わかばにこここ園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の 為に	◎安心、安全、家庭的な雰囲気大切に 子ども達にとって居心地の良い空間となるよう、まずは職員同士のコミュニケーションを大切にしていく。小規模保育の良さを活かしながら、子ども主体の丁寧な保育を心がける。 職員全体で子どもの成長を喜びあい、一人一人の個性を大切にし、日々の温かな会話を大切にしていきたい。 保護者の不安や心配を考慮しながら、少しでも多くの園内情報を発信していけるようスピード感をもって対応していきたい。
2、施設の役割・あり方	◎地域に根ざした暖かい保育園づくり 神宮寺にお参りの方や地域の方、業者さんの訪問や電話対応など、職員一人一人が明るくきちんと対応することを心がけていきたい。又、基本的な事ではあるが、職員の言葉遣いや身だしなみにおいても再度確認し、イメージを大切にしていきたい。 施設見学の親子は緊張しながら訪問される方もいるので、温かく迎え入れ、一時保育や支援センターの存在を知らせながら情報提供を心がけたい。
3、人材育成・研修	◎0、1、2歳児一人一人の『らしさ』を追求する 職員全体で乳児保育の学びを深める機会を積極的に行っていきたい。子どもの月齢にあった対応は、発達の先取りをするということではなく、子どもに寄り添った保育をするということをモットーに取り組んでいく。又、「させなきゃいけない」という誤った保育とならないよう話し合っていきたい。その中で、子ども一人一人の「らしさ」を認め、「その子の良さ」として見守っていけるような雰囲気づくりをしていきたい。又、職員一人一人の気づきやアイデアを活かし、園全体で楽しみながら、達成感と自信に繋げていけるよう盛り上げていきたい。 新しく副主任保育士が2名配属されることにより、様々な事務時間が増えるため、研修等を含め作業の配分を考えていきたい。
4、働き方改革と処遇改善	◎様々な働き方と効率の良い仕事 タイムカードを導入して職員の様々な働き方を理解し、協力しながら働きやすい環境を整えてく。又、事務時間のとり方を工夫し、効率の良い仕事ができるように配慮する。又、年次有給休暇は計画的にとれるようにする。
5、施設改修等	◎保育を充実させるための環境作り 地震で受けた災害箇所の修繕の出来る限り早くし、保護者や園児に不安を与えないようにする。

令和6年度 行事予定

わかばにこにこ園

4月	お花見散歩	全園児
6月	クラス懇談会	全保護者
7月	七夕の集い	全園児
8月	プール遊び	全園児
	夏祭り	全園児
9月	0歳保育参加	0歳児
	1～2歳親子遠足	1・2歳児親子
10月	にこにこ運動会	0歳児
	ハロウィンパーティー	全園児
11月	保育参加	全園児
	園外保育	うさぎ組
12月	クリスマス会	全園児
1月	新年お楽しみ会	全園児
2月	節分の集い	全園児
	お店屋さんごっこ	全園児
3月	ひなまつりの集い	全園児
	ありがとうお別れの会	全園児

※誕生会は個人にあわせて各クラスで実施

※健康診断・歯科検診はどちらも春・秋に各1回実施(6月・11月)

※眼科検診は春1回(6月)

※身体計測は月1回実施

※検尿は年1回(4月)

※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応訓練は年3回実施

※交通安全指導は月1回

※個別懇談会(春は希望者のみ・冬は2歳児のみ)

令和6年度 基本方針 きぼう保育園

項目	ねらい・重点施策
1、質の高い保育の実現の為に	<u>1、子どもにとって居心地良い時間・空間に</u> 小人数ならではの家庭的保育を継続して行う中で、子どもひとり一人に応じたきめ細かい、そして子どもの思い・発見・成長を見逃さずしっかり受け止められるような保育を心がける。 0.1.2歳児の異年齢の子どもたちがそれぞれの生活に無理のないように、発達に応じて変化のある環境の工夫を行う。(人的環境、室内環境等) 特に0歳児の生活・遊びの見直しを重点に(おもちゃ・散歩の仕方など) <u>2、保護者と一緒に子どもの成長を喜び合えるように</u> 必ず担任が会える利点を生かし、保護者の気持ちや悩みに寄り添い、共に子育てをし、共に育ち合う保育をめざす。またきっぷノートを活用して、リアルタイムに子どもの様子を伝えて安心して働いてもらえるようにする
2、施設の役割・あり方	<u>1、「ホクタテ」さんとのつながりを大切に</u> 園の状況を定期的に伝え、関係を今後も大切につなげていく。またホクタテの事業所内という位置づけを外部の方にも知ってもらうために、HP などへの掲載を依頼してみる。 <u>2、地域との交流を丁寧に</u> 園周辺を散歩したり、公園に行ったりと出掛ける機会を多く持つ中で、地域の方と挨拶を交わす等、触れ合いを大切にしていける。
3、人材育成・研修	<u>1、「乳児保育」とは？をいつも念頭に</u> 乳児保育の学びをより深めこども主体の保育ができるよう、資料なども探して自己研鑽に励めるようにする。乳児に合った行事のあり方を改めて考える。 <u>2、話し合うことによって成長できる職員集団に</u> 定期的に時間を作り、また気になる事例があった時はすぐに発信して職員全員で話し合う機会を多く持つようにする。 それぞれの保育に対する考えは違うのは当たり前で、その中でお互いの保育をすり合わせ、高めあえるような仲間になれるよう、それぞれが意識しながら話し合いに臨む努力をする。 <u>3、園内研修を充実させる</u> 参加した研修の学びを伝えあったり、書籍から参考になる文章を紹介したり、日々の中でも学ぶ姿勢を持つようにする。また他の園の研修に参加させてもらう等、同じ小規模保育園(他法人でも)と一緒に学ぶ機会を持つ。
4、働き方改革と処遇改善	<u>1、支えあう職場環境を模索する</u> 小さな職員集団の中でみんなが無理せず働けるよう、有給・振替休日・事務時間・保育の準備時間を取得できるように工夫する。
5、施設改修等	<u>1、ワンフロアを出来るだけ広く効率よく使う工夫の継続</u> 環境向上事業の活用 ホクタテさんの空き部屋の利用 <u>2、園独自の SNS の作成、運営</u> 園の存在をもっと知ってもらうための方法を模索する。
6、その他	<u>1、さまざまな感染症対策のさらなる強化</u> <u>2、小規模3ヶ園での連携・情報交換、また他法人の小規模園との交流</u>

利用園児数

定員12名(内地域枠5名) 令和6年4月1日現在

	0歳児	1歳児	2歳児	計	合計
従業員枠		4名	1名	5名	
地域枠			1名	1名	6名

令和6年度 行事予定

4月	・お花見散歩	12月	・クリスマス会
5月	・園外保育(歯科検診後)	1月	・新年お楽しみ会
7月	・七夕の集い ・水あそび ・保育参加	2月	・節分の集い ・個別懇談会
10月	・2歳児遠足(さくらんぼ園と合同) ・ハロウィンパーティー	3月	・ひなまつりの集い ・お別れ会 ・お別れ園外保育
11月	・親子遠足 ・園外保育		

☆誕生会は個人に合わせて実施

☆身体計測は月1回実施 ☆健康診断・歯科検診はどちらも春・秋に各1回実施

☆視力検査は満3歳のみ実施 ☆検尿は年1回

☆災害時対応訓練、交通安全指導は月1回、不審者対応訓練は年3回実施

令和6年度 基本方針 わかばさくらんぼ園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の為に	◎安全、安心、居心地の良い空間を 乳幼児の発達は著しく、子どもの発育に個人差も大きい。0,1,2歳児の異年齢保育では一つの室内空間をいかにうまく使うか、常に工夫が必要である。保育士一人一人の保育観を生かしながら、子ども達が日々安心して自己表現していけるよう見守っていききたい。まずは、職員が何事においても慌てず、ゆったりとした心構えでいることが子どもの安心感につながるの、互いに話し合っていきたい。又、子どもの成長と共に安全面には油断できないので、常に緊張感を持ちながら保育に取り組んでいく。その中で家庭的な温かい園を目指していきたい。又、子ども一人一人の主体性を大切に成長につなげていきたい。
2、施設の役割・あり方	◎地域の方々に見守られながら ビルに囲まれ、ビル内にある当園では、様々な職種の方々と遭遇する。園自体があまり知られておらず、散歩をしていても目立つ傾向にあるが、逆に「ここに子どもたちがいるよ!」とアピールしていくことで子どもたちを守ってもらえるのではと考える。子ども達と一緒に出会った方とのコミュニケーションを大切に、地域に密着していきたい。園に通う子どもは、ほぼ第一子、核家族である。子育ての大変さを感じながらも一人で抱え込む方が多いと感じられるので、保護者が参加する行事や交流する機会を作っていく。
3、人材育成・研修	◎0,1,2歳児保育のポイントをつかむ 乳幼児の保育は、子守りをする面倒をみる感覚ではいけない。子ども達は小さいながらも思いがあり、個性があふれている。また、日々の成長も著しく、保育士はその時々状況に応じて臨機応変に対応するテクニックが必要である。小規模園では、保育士一人一人の動きが園全体の生活の流れに直結する。保育士一人一人が学び、保育の感覚を養っていくことが大切である。職員は、できるだけ研修に参加したり、文献を読み合わせたり、時にはたわいもない話から子どもの可愛い姿を共有し、職員が一丸となって保育できるような雰囲気づくりをしていきたい。
4、働き方改革と処遇改善	◎様々な働き方と効率の良い仕事 職員一人一人の働き方を理解し、協力しながら働きやすい環境を整える。事務時間を定期的にとれるよう工夫し、効率の良い仕事ができるよう配慮する。又、年次有給休暇も計画的にとるようにする。さくらビル2階のワークブースを利用しノンコンタクトタイムを確保する。体制に困った時は、石金こども園やきぼう保育園と連携をとり保育に努めていきたい。
5、施設改修等	◎快適、安全に過ごすために ホクタテビルメンとの話し合いを大切にしながら、子どもの安全を最優先に取り組んでいく。

利 用 定 員	定員12名		令和6年4月1日現在	
	0歳児	1歳児	2歳児	合計
定 員	4名	4名	4名	12名
4月入所児童数	2名	2名	4名	8名

令和6年度 行事予定

わかばさくらんぼ園

	日程（予定）	参加	備考
保育参加	6/6（木） 6/7（金）	2歳児保護者 0, 1歳児保護者	
七夕の集い	7/5（金）	全園児	
個別懇談会	7月	希望者のみ	
水遊び	7/11（木）～	全園児	
夏祭りごっこ	8/22（木）、23（金）	全園児	
さくらんぼママの おしゃべり会	9/12（木）、13日（金）	全保護者	
運動会ごっこ	9月	全園児	
2歳児遠足	10月	2歳児 （きぼう保育園と合同）	
ハロウィン	10/31（木）	全園児	
園外保育	11月	1, 2歳児	
勤労感謝ウィーク	11/18（月）～	全園児	
クリスマス会	12/20（金）	全園児	
新年お楽しみ会	1/15（水）	全園児	
個別懇談会	1月	2歳児全員	
節分の集い	2/3（月）	全園児	
お店屋さんごっこ	2/17（月）～	全園児	
ひな祭り会	3/3日（月）	全園児	
思い出散歩	3/24日（月）	全園児	
お別れ会	3/25（火）	全園児	
新年度準備	3/31（月）		

☆誕生会は園児の誕生日にあわせてお祝いします。

☆災害時対応訓練、交通安全指導は月1回実施。不審者訓練は年間3回実施。

☆身体計測は毎月計測。

☆検尿は年1回、5月頃の予定。

☆内科検診、歯科検診は春と秋の年2回実施。視力測定は満3歳のみ実施。

令和6年度 事業計画書

わかば学童クラブ堀川園（A, B）

子どもが安心して自分の思いや個性を発揮し、のびのびと過ごせる環境を基盤に堀川園の良さである集団遊び・戸外遊びを充実させていく。1～6年生が学年関係なく遊ぶ楽しさや年上への憧れ、年下へのいたわりの気持ちを生活や遊びを通して感じられる場所にする。トラブルになった場合は時には見守り、時には子どもと一緒に解決方法を考えることにより自分で考える力も育てていきたい。保護者の要望・相談等にもしっかりと耳を傾け子育ての支援や助言を行えるようにしていく。その他小学校との連携・地域の教育・健全育成に貢献できるよう職員一同で取り組んでいきたい。

基本方針 ～安心・安全な学童クラブを目指して～

- 1、 ほっと安心でき楽しい学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
- 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～自分たちで考えて工夫しよう～
- 3、 安全な環境づくり ～室内外の環境の見直し・帰り道に気を付けて!～
- 4、 個別に対応が必要な児童に対する適切な関わり ～安心して過ごせる空間に～
- 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～

年間行事

- 4月 1年生歓迎会
 - 5月 春の園外保育（小学校振替休業日に予定）
 - 6月 野菜の苗植え
 - 7月 夏休み開始…実験、プール遊び、収穫クッキングなど
 - 8月 夏の園外保育
山びこキャンプ（立山青少年自然の家）
 - 9月 収穫クッキング
 - 10月 ハロウィンパーティー
 - 11月 秋の遠足
 - 12月 冬休み開始…クリスマス会、大掃除
 - 1月 雪遊び遠足（立山少年自然の家にて）
 - 2月 節分
 - 3月 お別れ会
- 他、避難訓練（年間4回予定）、誕生会、生活指導（適宜）など

校区別児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	校区別合計
蛭川小	23	27	16	10	12	2	90
その他	藤ノ木 1 熊野 2 山室 1 西田地方 1 支援学校 1	堀川南 1 藤ノ木 1 片山学園 1 新保 1 朝日 1	堀川南 3	堀川 1 四方 1 新保 1	四方 1		18
学年合計	29	32	19	13	13	2	108

令和6年度 事業計画

わかば学童クラブはりはら園

針原地域が少子化となっていく中、平日は4校の小学校より児童が利用するはりはら園。違う学校へ通う児童達が、小学校とは違う集団・仲間作りをし、「第二の家」となるような家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるようにしていきたい。中には家庭で過ごしたいという児童もいるかもしれないが、自分で安心できる場所をみつけて一人でゆったり過ごしたり、友達と体を動かして思いきり遊んだりするなど子ども達はその日にしたいことを選択して過ごせる場を提供していく。一人一人の個性を大切に、個別に配慮が必要な子にも家庭と連携しながら、必要な支援ができるように配慮していく。また保護者の方々が安心して仕事にいけるように、細やかなコミュニケーションを取ながら、信頼関係を築いていけるように心掛けていく。

来年度は、保護者の子育ての悩みなどに寄り添えるように、希望される方には、担任との個別懇談会を設けるなどの支援をしていきたい。

<主な年間行事>

4月	新1年生歓迎会	10月	学童運動会 個別懇談会(希望者) ハロウィンパーティー
5月	野菜又は花の苗植え BBQ 園外保育	11月	園外保育
6月	制作&科学遊び	12月	クリスマス会 冬の遠足
7月	ビーチバカンスごっこ	1月	新年お楽しみ会
8月	学童キャンプ 夏まつり	2月	節分の集い バレンタインパーティー
9月	クッキング	3月	ひなまつりの集い お別れ会

<令和6年度 はりはら園利用校下と登録児童数>

	針原	新庄北	広田	三成	合計
1年生	8人	4人	3人		15人
2年生	9人	2人	3人	1人	15人
3年生	2人	7人	1人		10人
合計	19人	13人	7人	1人	40人

※長期休暇のみ利用校下(卒園児対象)

	大広田	新庄	五福	牧野	合計
1年生	2人	1人	1人	1人	5人
2年生		1人			1人
3年生	2人				2人
合計	4人	2人	1人	1人	8人

令和6年度 事業計画書

わかば学童クラブ下堀園 (A・B)

高学年児童を受け入れて二年目となる令和六年度も、まず子どもの安全と保護者の安心を第一に、小学生が心身ともにすこやかに過ごせる環境づくりを丁寧に行っていく。とりわけ年度初めは就学初期の一年生の情緒の安定を重視し、温かい居場所をつくっていく。低学年クラス(1～2年)＝チーム★スマイルと高学年クラス(3～5年)＝チーム★チャレンジの2クラス体制で育成支援を行うが、学年にとらわれず児童の情緒や発達に留意して環境設定と育成内容を吟味していく。

また、学童退園後の放課後生活など育児相談にも積極的に応じながら、成長の喜びを保護者と共有していきたい。その他、小学校との連携・地域の教育・健全育成に貢献できるよう職員一同で取り組んでいきたい。

基本方針 ～安心・安全な学童クラブを目指して～

- 1、 ほっと安心でき楽しい学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
- 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～遊び中心、子ども主体の保育～
- 3、 安全な環境づくり ～安全で過ごしやすい空間づくり～ ～帰り道に気を付けて!～
- 4、 個別に対応が必要な児童への適切な関わり ～安心して過ごせる居場所に～
- 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～

年間行事

- 4月 1年生歓迎会、交通安全指導
 - 5月 高学年クラス春の遠足(学校振替休業日に予定)
 - 6月 低学年クラス春の遠足(学校振替休業日に予定)
 - 7月 夏休み開始、水遊び・虫捕りなど様々な遊び、高学年クラス海水浴
 - 8月 やまびこキャンプ(1泊2日、立山青少年自然の家、保護者ボランティア参加)
低学年クラス園外保育(水遊び)、夜の肝試し
 - 9月 作品展(保護者観覧)
 - 10月 登山遠足(学校振替休業日に予定)、ミニ運動会(卒園児童参加)、
ハロウィン仮装行列(地域の商店や事業所等へ)
 - 11月 保健指導
 - 12月 冬休み、クリスマス会、1～3年 雪遊び遠足
 - 1月 4～5年 スキー遠足、新年お楽しみ会
 - 2月 低学年クラス園外保育・高学年クラス電車遠足(学校振替休業日に予定)
下堀こども園年長児との交流会
 - 3月 しもほり学童まつり(近隣の学童や放課後等デイを招待)、お別れ会
- この他、避難訓練(年間4回予定)、誕生会、生活指導(適宜)など

児童数81名	下堀園A 38名(1～2年生)		下堀園B 43名(2～5年生)			
学年別児童数	1年31名	2年7名	2年16名	3年12名	4年9名	5年6名

※在籍児童の全員が堀川南小学校児童